

**製品名: TIS11D ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18968**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	55kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ZFP36L2
別名	ZFP36L2; BRF2; ERF2; RNF162C; TIS11D; Zinc finger protein 36; C3H1 type-like 2; ZFP36-like 2; Butyrate response factor 2; EGF-response factor 2; ERF-2; Protein TIS11D
遺伝子 ID	678.0
SwissProt ID	P47974
免疫原	抗血清はヒト TISD 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 207-256

**背景**

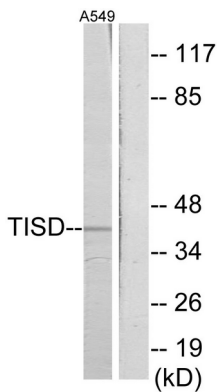
この遺伝子は、初期応答遺伝子 TIS11 ファミリーのメンバーです。ファミリーのメンバーは、ホルボールエステル TPA やポリペプチ

ドマイトジェン EGF などの様々なアゴニストによって誘導されます。コードされているタンパク質は、システイン-ヒスチジン (Cys-His) の繰り返しモチーフを持つ、特徴的な推定ジンクフィンガードメインを含んでいます。この推定核転写因子は、成長因子への応答を制御する機能を持つと考えられます。[RefSeq 提供、2008年7月]機能: 成長因子への応答を制御する調節タンパク質と考えられています。5'UUUUUUUUUU-3'コア配列に結合する RNA 結合タンパク質。標的 mRNA の 3'-UTR にあるクラス II AU リッチエレメント (ARE) に結合し、それらの脱アデニル化と分解を促進します。類似性: 2つの C3H1 型ジンクフィンガーを含みます。、

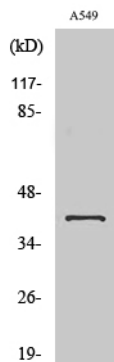
## 研究分野

細胞生物学、アポトーシス、細胞内、p53 経路、エピジェネティクスと核シグナル伝達、転写、ドメインファミリー、ジンクフィンガー、クロマチン結合タンパク質、DNA / RNA 結合

## 画像データ



TISD 抗体を用いた A549 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TIS11D ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。